

村社会が壊れた

1978年 村の風景を保全

1985年 国定公園

『若い人が村に戻ってくるがテーマ』

社会主義で補助金 森の保全で補助金

補助金なしで成り立っている 金無しで自立する農業を行う。(ローン)

過去の姿が農業の姿ではないか。

ヨーロッパノ村々のサウンドスケープ

ハンス・ウルエイヒ・ヴェルナ(ケルン)

エステイング・ヴィンクラー(スイス)

サウンドにはアイデンティティーがある

各々の地域でいるんな音がある。

音で場所が分かる

足音、子供、犬、まつり、風、バイク、車、虫、鳥など

村で音が失われた

車で家族が移動して村にいない。

昔は川で洗濯。コミュニケーションの場であった

共通語しか聞こえない。方言が失われた。

料理の音が変わった。電子レンジへ

音と共に大事なものまでも失われた

騒音対策はしているが、心地よい音の大事さ。

昔の音と今の音との比較。

音を共に感じる。コミュニケーションの場。共有できる音。

教会の鐘の音。 地元の人と他所の人では感じ方が異なる。

学校のサイレン、etc 各々に感じ方が違う。

社会のどの位置に所属しているかで、テリテリーが違う。

人々が音に麻痺している中、どのようにしたら、音を感じるようになるか。

システムづくりをおこなう

村の心に訴える音が静かすぎる。

村から音が消えた。

住んでいる場所を変えるだけで、体験できる音が違う。

観光客もその場の音を体験できる。

頭の中のランドスケープ

ゲアハルト・シュトロマイヤー(ウィーン)

舞台の中の背景としてとらえている

1 生産に結び付けるランドスケープ 働いている場の風景

2 意図的に造られたランドスケープ ポストカードになる風景

3 抽象的なランドスケープ(夢) 夢に見る幻想的な。

昔の思い出の風景

ある風景写真について

女性が干し草の作業 女性は風景を作っているとは思っていない。

画家が風景をつくっている訳でもない。

ある画家が農村風景を描き、世の中に知らせることで地域が有名に

なった。表現することで農業を伝えることができる。